

大津企業景況調査報告書

(第57回)

平成24年 4月～ 6月期 実績

平成24年 7月～ 9月期 見通し

大津商工会議所

大津企業景況調査について

(平成24年4月～6月期)

1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	20社	16社	80.0%
製 造 業	10社	8社	80.0%
卸 売 業	10社	9社	90.0%
小 売 業	30社	22社	73.0%
サービス業	30社	22社	73.0%
合 計	100社	77社	77.0%

3. 調査期間

調査対象期間は平成24年4月～6月とし、調査時点は平成24年6月1日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3 ヶ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

景況感は持ち直しの動きあるもなお足踏み状態

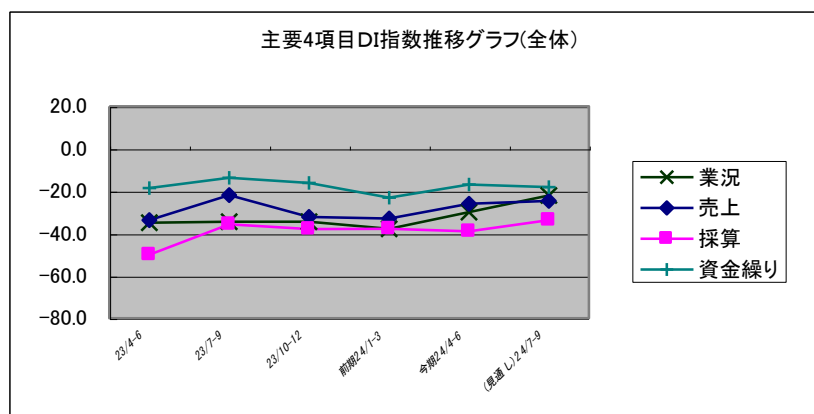
平成 24 年 4 月～6 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

全体

景況感は、全体では持ち直しの動きがみられるものの、なお足踏み状態である。省エネ関連製品の受注増加などから製造業が改善し、小売業でも個人消費が堅調なことから改善し、建設業も改善したが、卸売業、サービス業では悪化している。

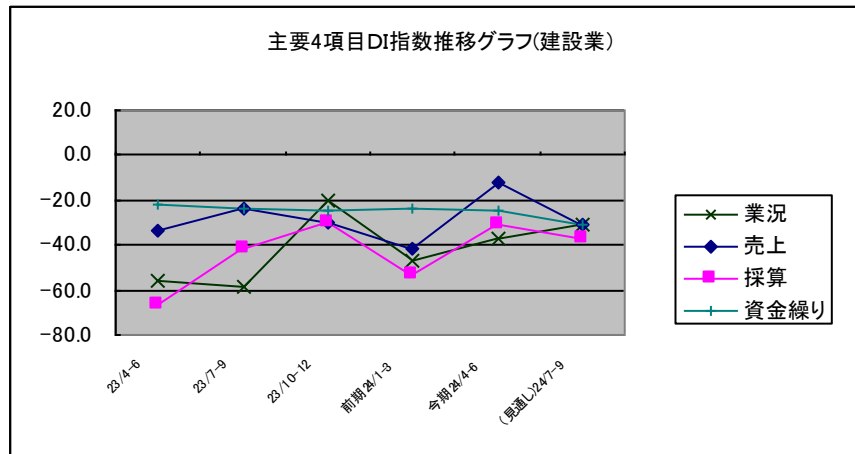
先行き見通しは、電力供給不安がやや薄らいだこともあり、製造業ははじめすべての業種でやや改善すると見込んでいる。

- **業況判断 DI（前年同期比）はやや改善。業種別は製造業、小売業、建設業が改善**
「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期▲38 から今四半期▲30 と 8 ポイント改善したがなお足踏み状態である。製造業は省エネ関連製品の受注増加などから改善し、小売業でも個人消費が堅調なことから改善し、建設業も改善したが、卸売業、サービス業では悪化している。
- **売上 DI（前年同期比）はやや改善、業種別は業況判断とほぼ同一**
「前年同期比でみた売上 DI(全体)」(「増加」－「減少」)は、前四半期の▲33 から今四半期▲26 とやや改善。業種別にみると、業況判断と比例して製造業と建設業が大幅改善、卸売業とサービス業では悪化した。
- **採算 DI（前年同期比）は横ばい。業種別は業況判断とほぼ同一**
「前年同期比でみた採算(経常利益) DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期▲38 から今四半期▲39 で横ばい。業種別にみると、業況判断と比例して製造業と建設業が大幅改善、卸売業とサービス業では悪化した。
- **資金繰り DI（3 ヶ月前比）はやや改善**
「3 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期の▲23 から今四半期▲17 とやや改善した。業種別にみると、製造業、卸売業、サービス業で改善し、建設業、小売業で悪化した。
- **従業員 DI（前年同期比）は人員不足に転じる**
「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」(「不足」－「過剰」)は、前四半期の▲5 が今期+9 と人員不足に転じた。業種別にみると、ほとんどの業種が人員不足で特に製造業が大幅な人員不足になっており、小売業、サービス業、建設業も不足している。



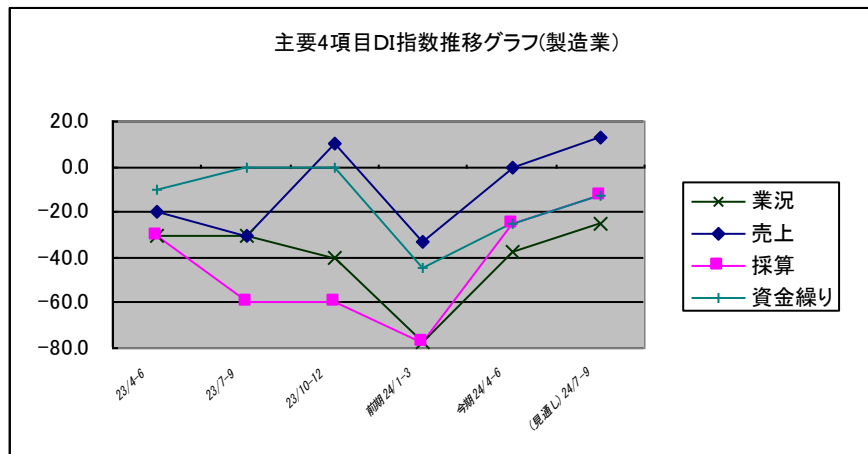
建設業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期は▲47 と悪化したが、今四半期は▲38 と改善し足踏み状態である。「売上」は前四半期の▲41 から今四半期▲13 と改善し、「採算」が前四半期の▲53 から今四半期は▲31 と改善して「採算水準」が前四半期の▲35 から今四半期+6 と黒字になったことおよび「取引の問合せ」も前四半期の▲53 から今四半期▲38 と改善したことによるとみられる。「従業員」は人員過剰から不足に転じた。



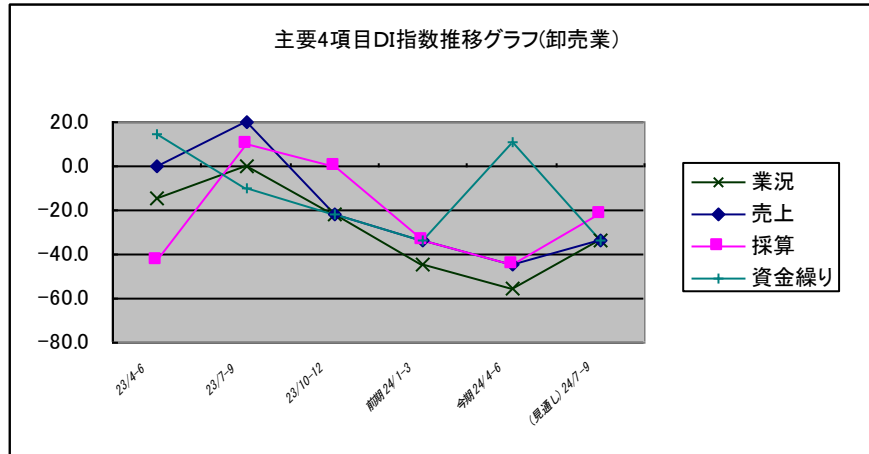
製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲78 から今四半期は▲38 と大幅改善した。「売上」は前四半期の▲33 から今四半期と±0 と改善した。「採算」が前四半期の▲78 から今四半期は▲25 と改善して「採算水準」が前四半期の±0 から今四半期は+38 と黒字企業が増加した。「従業員」は前四半期の▲22 の過剰から一転して今四半期+25 の人員不足になった。業況改善の原因は省エネ関連製品の需要増加の影響等とみられる。



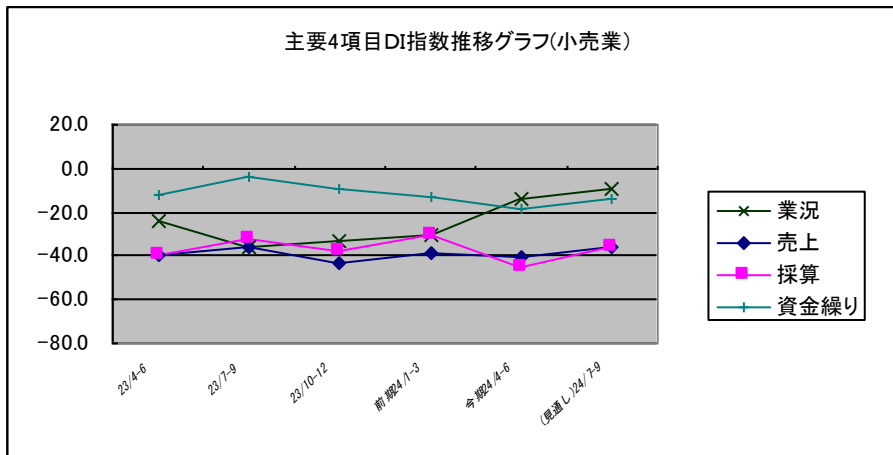
卸売業

DI指数をみると、「業況」は前四半期の▲44から今四半期は▲56にさらに悪化した。これは「売上」が前四半期の▲33から今四半期▲44と減少したことに加え、「採算」が前四半期の▲33から今四半期は▲44に悪化し、「採算水準」が今四半期も赤字基調が続いているためとみられる。「取引の問い合わせ」も低調な状況が続いている。「従業員」は前四半期の過剰感が今四半期には過不足なしになった。



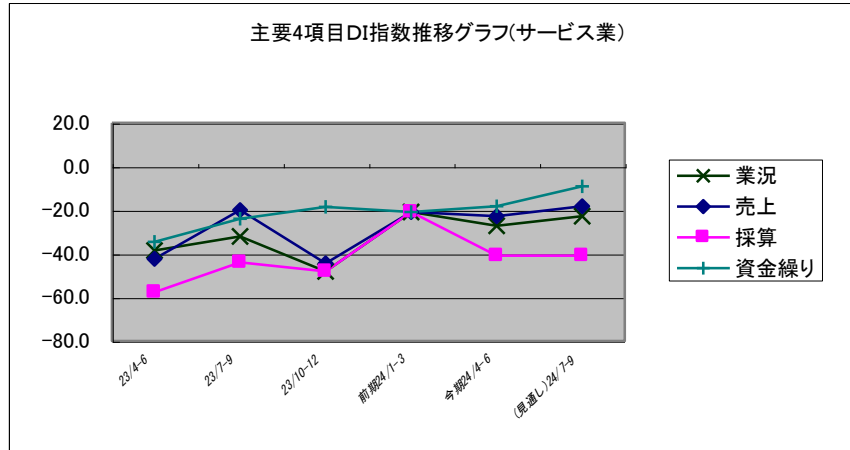
小売業

DI指数をみると、「業況」は前四半期の▲30から今四半期は▲14と改善した。「売上」は前四半期の▲39から今四半期▲41と小幅減少したが、「採算水準」が前四半期の▲26から今四半期▲9に改善したことによるものとみられる。「取引の問い合わせ」は小幅改善している。「従業員」は前四半期の±0(過不足なし)から今四半期+9と人員不足になった。業況改善の原因は、家計消費節約の反動や省エネ関連商品需要の増加等、個人消費が堅調であることによるものとみられる。



サービス業

DI指数をみると、「業況」は前四半期の▲21から今四半期は▲27と悪化した。「売上」は前四半期の▲21から今四半期▲23と減少し、「採算」も前四半期の▲21から今四半期▲41と悪化した。「取引の問い合わせ」は改善している。「従業員」は前四半期の+4から今四半期+9とさらに人員不足感が増した。



3ヵ月後の見通しについては、関西電力大飯原発が再稼働の方向になり電力供給不安がやや薄らいだこともあり、製造業はじめすべての業種でやや改善すると見込んでいる。ただし夏場の国内の電力需給はなお厳しいこと、欧州の金融危機による世界経済の減速懸念等があり、改善幅は小幅にとどまっている。

全体の「業況」は、今四半期の▲30から▲22に改善する見通し。「売上」は1ポイント改善して▲25、「採算」は5ポイント改善して▲34、「採算水準」は3ポイント改善して+3の見通しである。

「業況」見通しを業種別にみると、製造業が13ポイント大幅改善して▲25、建設業が7ポイント改善して▲31、小売業が5ポイント改善して▲9と見込んでいるほか、卸売業、サービス業も改善するとみている。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は前四半期の16%から6ポイント増加して22%となった。製造業が16ポイント増加して38%、建設業が13ポイント増加して25%、小売業は10ポイント増加して27%になった。業況判断との連関がみられる。投資企業の投資内容の割合は更新投資が39%で最も多い。投資方針は、「今後の景気に拘らず計画通り」とする企業が前四半期から5ポイント減少して今四半期41%になった一方、「景気動向により見直す」が2ポイント増加してこれも41%になった。先行きの不透明感から環境変化に柔軟に対応しようとする現われとみられる。

(MBA・中小企業診断士 田中清行)

(今の経済情勢に対する意見)

今の経済情勢に対する意見を寄せた企業は7社であった。

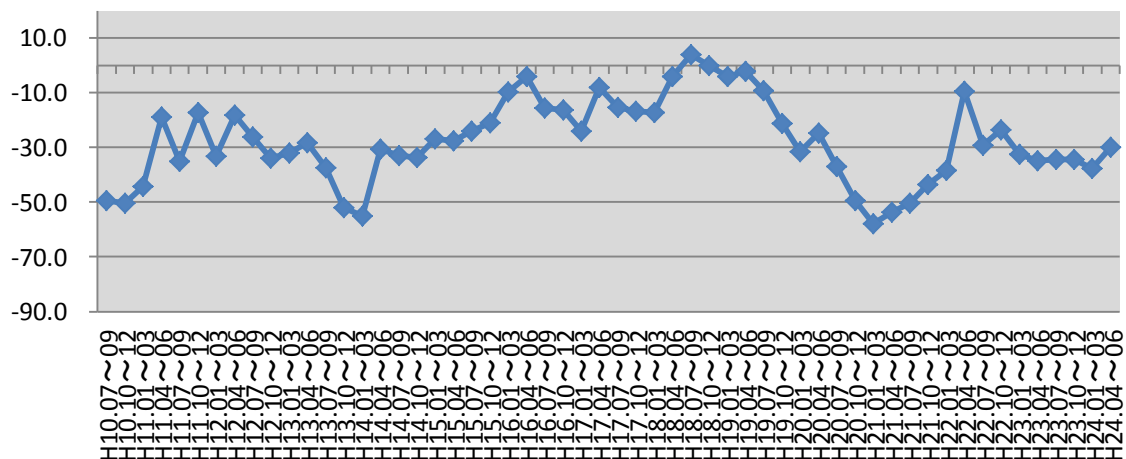
- 電気について節電は賛成です。計画停電はだめです。(小売業)
- 早期の経済の活性化、ゆとりある社会、状況の好転を期待。(小売業)
- 大津市産業政策課による住宅改修補助金は、仕事量の増加につながり大変助かった。予算の増額、春秋の2回実行を希望する。太陽光システムが節電の夏大きく注文が増えるか？(建設業)
- あまりにも国政が悪すぎる。(卸売業)
- 省エネ対策の打切り。消費税値上げの影響不安。(サービス業)
- こんな時に政権争いと消費税などの負担増ばかり、財政再建より成長とインフレに力を入れて欲しい。(サービス業)
- 夏季の電気供給により景気が左右するのではないか。計画停電でもあれば、サービス零細事業者は特にこまる。また、停電で役所の窓口の開館時間等は縮小せず、従来どおり対応して欲しい。(サービス業)

DI 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し
全 体	▲ 29.9	▲ 22.1	▲ 26.0	▲ 24.7	▲ 39.0	▲ 33.8
建 設 業	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 12.5	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 37.5
製 造 業	▲ 37.5	▲ 25.0	0.0	12.5	▲ 25.0	▲ 12.5
卸 売 業	▲ 55.6	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 22.2
小 売 業	▲ 13.6	▲ 9.1	▲ 40.9	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4
サービス業	▲ 27.3	▲ 22.7	▲ 22.7	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 40.9
	昨年の同期との比較		昨年の同期との比較		昨年の同期との比較	
	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し
全 体	0.0	2.6	▲ 33.8	▲ 33.8	9.1	3.9
建 設 業	6.3	▲ 18.8	▲ 37.5	▲ 43.8	6.3	0.0
製 造 業	37.5	37.5	▲ 25.0	▲ 12.5	25.0	0.0
卸 売 業	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 44.4	0.0	0.0
小 売 業	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 31.8	▲ 27.3	9.1	9.1
サービス業	4.5	13.6	▲ 36.4	▲ 36.4	9.1	4.5
	該当期について		該当期について		昨年の同期との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し
全体	▲ 16.9	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 2.6	▲ 6.5
建設業	▲ 25.0	▲ 31.3	▲ 12.5	▲ 6.3	0.0	▲ 6.3
製造業	▲ 25.0	▲ 12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
卸売業	11.1	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	▲ 18.2	▲ 13.6	0.0	0.0	0.0	▲ 4.5
サービス業	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 13.6	▲ 13.6
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

本調査開始 (H10.4~6期) 以降 業況DI指数推移グラフ(全体)



大津商工会議所

〒520-0806 大津市打出浜2番1号

コラボしが21・9F

TEL 077-511-1501

FAX 077-526-0795

URL <http://www.otsucci.or.jp/>